

「本気・根気・元気・勇気」でキラリ輝く立花小

校長 佐々木 秀年

新学期を迎え、立花小に子供たちの元気いっぱいの声が戻ってきました。学校では、新1年生67名を迎え、256名の児童と28名の教職員で、令和5年度立花小学校開校50年目の年がスタートしました。

保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級、誠におめでとうございます。私も校長として2年目を迎え、始業式で子供たちに以下の通り話をしました。

いよいよ今日から、みなさんが楽しみにしていた新学年のスタートです。この16日間の春休み中に、しっかり準備できましたね。さあ、新しい学年に進級し、今、全員がスタート位置につきました。ここから、自分の力をさらに伸ばしていくためにスタートダッシュを決めます。そのためには、最初が大切です。まずは、今年度の自分の目標をしっかりと立ててください。

さて、校長先生は、3月の修了式でみなさんに立花小の「本気・根気・元気」について振り返りをお願いしました。

- ① 自分のめあてに向かって【本気】で学ぶ。
- ② 最後まで諦めず、コツコツと【根気】強く取り組む。
- ③ 健康に気を付けて【元気】よく登校することについてです。

今年度は、この3つの合言葉に1つ付け加えます。それは、「勇気」です。立花小の子供全員が、「学ぶ楽しさを実感し、素直な笑顔が広がる」学校にしたいお話をしましたね。テーマは「笑顔」です。

- ① 「わかった・できた感いっぱい学びある楽しさ」
- ② 「友達と仲良く遊ぶ楽しさ」
- ③ 「学年・学級の一員として、協力して生活する楽しさ」のことです。

昨年度、3年生のお友達が、傾聴作文に次のようなことを書いてくれました。

楽しさいっぱいの学級にするためには、「本気・根気・元気」は、もちろん大切ですが、時には「勇気」が必要です。「勇気」があれば、苦手な事にもチャレンジできるし、友達のケンカも止められます。僕は「勇気」を出して楽しさいっぱいのクラスにできるように、がんばりたいです。

すばらしいですね。校長先生もそう思いました。そのため、この3年生のお友達が言ってくれた【勇気】を付け加え、令和5年度は、「本気・根気・元気・勇気」でキラリ輝く立花小をモットーにしました。みなさんには、引き続き、「立花小学校を楽しさいっぱいの学校」にするために、自分に何ができるかを考えながら、行動してくれるとうれしいです。

それでは、令和5年度「本気・根気・元気・勇気」でがんばってください。みなさんの「笑顔」いっぱいの姿を楽しみにしています。

本校では、子供たちにあらゆる場面のより多くの人との関わりの中で、自ら考え、認め合い、自己肯定感を高めていけるよう教育活動を充実させてまいります。

今年度も、保護者・地域の皆様には、変わらぬご支援とご協力をいただけますよう、どうぞ、宜しくお願いいたします。